

の纏まるを待つて居る様にては何時まで待つとも  
 實行の曉には達し難し。議論の可否は既に決した  
 り。只其纏まらざるは、裝飾形式の上在り。此  
 の如きは到底一時に決して、一時に行はるべきに  
 わらず。漸次改良に改良を加へて完成せらるべき  
 もの、婦人諸君、各自に於て各團體に於て、苟も  
 一個の考案成らんか、乞ふ奮つて先づ自ら、着用  
 せられよ、若しくは自家の子女たちに着用せしめ  
 よ。缺點と優點とは、かくして實驗の後初めて眞  
 に改良進歩せしむるを得ん。(以上三件牧羊生)



●女子高等師範學校教授の出張。黒田教授は過月  
 女子教育視察として東北地方に、篠田教授は岐阜  
 縣教育會に、中村教授は、大阪に於ける京阪神連  
 合保育會に列席のため、それ／＼出張せられた  
 りしが何れも先月中歸校せられたりとのことなり  
 ●東京音樂學校音樂會 同校に於いては、今般中  
 學唱歌集刊行せしを以つて、其披露として客月十  
 九日同校奏樂堂に於て盛なる演奏會を舉行せし由  
 ●文部省夏期講習會 本年開設せらるべき文部省  
 夏期講習會の時日、場所學科等は左の如く定まれ  
 りと。

一、開會期限自七月二十五日至八月十四日

一、開會地、東京仙臺京都金澤熊本福岡

一、講習學科目 教育法制及び經濟國語及び漢文學校の建築音樂理科學家事、東京、歴史博物(仙臺)英語(京都)數學博物(金澤)物理化學(熊本)普通體操(福岡)

一、兼習を許すべき學科目は東京に於ける理科學家熊本に於ける物理化學とす

一、地方長官の選定すべき講習員は六月十五日迄に選定書を文部省に差出す様知事に於て取斗ふべき事

一、地方長官は定員外に於て各學科目に就き豫備員として各一人を限り特に選定することを得

●私立女子技藝學校 東京市教育會の施設にかゝる同校は愈本月より開始する筈となれり。左に規則及學科課程表を記さん

私立女子技藝學校規程

第一條 本校は私立女子技藝學校と稱し當分麹町區飯田町四丁目一番地私立雜松小學校内に設置す

第二條 本校は修身國語算術裁縫刺蒸其他家事に屬する事項を教授する所とす

第三條 本校に入學することを得べき者は年齢滿十二年以上の女子にして尋常小學校卒業以上の學力を有するものに限る

第四條 本校の修業年限は二年とす  
第五條 本校の學科課程は別表に據る

第六條 本校の授業は毎日午後三時開始とす

第七條 本校の休業定日左の如し

一 大祭祝日 日曜日

一 五月二十八日 皇后陛下御誕辰日

一 夏季休業 八月一日より同三十一日に至る

一 冬季休業 十二月二十五日より翌年一月七日に至る

一 學期末休業 六日以内

第八條 本校の生徒は授業料として毎月金七拾錢を納付すべし

第九條 入學願書式左の如し  
但し保證人は市内在住者にして丁年以上の者たるべし

入學願書式

本籍族稱(誰妻、誰長女、又は何女等の類)

現住所 何 誰

生 年 月

右者今般貴校に入學致度在學中は御規則相守違背仕間敷別紙履歴書相添此段相願候也

年 月 日

右

何 誰

右保證人

住所

何 誰

女子技藝學校校長宛

第十條 退學せんとするときは保證人連署を以て願出づべし

第十一條 每學年の終に於て平素の成績を考査し其進否を定む

第十二條 本校を卒業したるものには左の證書を授與す

族稱

何 誰

生 年 月

右は本校の課程を履修し正に其業を終へたるを證す

年 月 日

私立女子技藝學校長位勳氏名<sup>㊟</sup>

第十三條 本校生徒にして品行端正學業優等の者には之を表彰することあるべし

第十四條 本校生徒にして其體面を汚辱し又は不都合の行爲あるものは退學を命ずべし

女子技藝學校學科課程表

學科目	學年				
	每週 時數	第一學年			
修身	一	人倫道德の要旨作法	一	同	上
國語	二	讀方、綴方	二	同	上
算術	二	四則、比例	二	同	上
裁縫	一〇	裁方、縫方	一〇	同	上
家事	一	衣食住、育児衛生、家事經濟、編物等	一	同	上
割烹	二	調理法、獻立等	二	同	上
計	一八		一八		

女子英學塾

前に麴町區元園町に設立せられたる津田梅子女史の英學塾は其後追々好況を呈しつゝありとのことなるが、左に其規則を紹介すべし。

し。

私立女子英學塾規則

主旨

一、本塾は婦人の英學を専修せんとする者並に英語教員を志望する者に對し必要の學科を教授するを目的とす  
但教員志望者には文部省檢定試験に應ずべき學力を修得せしむ

一、本塾の組織は主として家庭的の薰陶を旨とし塾長及び教師は生徒と同住して日夕の溫育感化に力め又廣く内外の事情に通じ品性高尚に體質健全なる婦人を養成せん事を期す  
但生徒の都合により特に通學を許可する事あるべし

學科及修業年限等

- 一、學科を大別して必修科及び撰修科の二とす
- 一、學生を別ちて本科生及び撰修生の二とす
- 一、本科の入學生は滿十五年以上の女子にして高等女學校又は師範學校を卒業せる者若しくは之れと同等の學力を有する者且つ第四リーダール習讀し之に相當する會話文法等の素養ある者に限る
- 但英學の力足らざる者の爲に特に豫備科を設く
- 一、本科入學生と同學の學力ある者にて特に一二の學科を撰びて修學せんと望む者は撰修生として入學する事を許す
- 一、本科の修業年限を三ヶ年とす

一、入學を許可せられたる者は金貳圓を納めて束脩とすべし  
一、月謝は毎月貳圓と定む

但全月缺席者は納むるに及ばず

一、入塾者は賄費として金六圓を納むべし

但時價に因り増減あるべし

一、塾費は夏期金壹圓冬期金壹圓五拾錢と定む

一、月謝塾費賄料とも毎月五日迄に相納むべし

一、塾舎には家政に達したる舎監に監理を托し定員を小數にし衛生及び監督に遺憾なからしむ

一、音樂、圖畫裁縫等を別に學修せん事を希望する者には他の學科に妨げなき限り其便宜を與ふる事あるべし

塾長 津田梅子

外國教師 エー、エム、ペーコン

顧問 侯爵夫人 大山捨松

●女學校運動會一束

▲女子高等師範學校本科生徒は各月四日土曜日二部に分れ中山及大宮方面に

同通學生徒は十八日中山方面に、附屬高等女學校

は、同七日大森方面にそれゝ遠足を催されたり

▲華族女學校にては同月八日午前九時より同校運動場に於て運動會を開く、同日高輪御殿にましま

す常宮周宮兩内親王殿下にも御臨場あらせられ、生徒諸子の運動を御覽遊ばさる。▲東京府第一高等女學校に於ては同月二日稻毛方面に遠足を催せり

●道路左側通行に關して警視廳よりの注意

警視廳に於ては、過般來道路通行の安全を計る爲道路通行者に對して、それゝ左側を通行する標注意を與へ居れるが、一般人民をして、この習慣を得しむるには、まづ學校生徒より實行せしむるに如くなしとの意見より、先般文部省に交渉したる結果、同省よりは、此旨各學校に訓令して、それそれ生徒に、注意せしめわりといふ。

●東京市内に於ける浮浪學生 東京市内に於ける學生の總數は五萬人にて、其の中

一 公私中學在學生 一萬二千二十四人

二 醫學生(公私學校在學) 千七百二十四人

三 法學生(同上) 六千六百五十七人

四 農商學生(同上) 千七百七人

五 中學生相當(同上) 千人

六 海陸軍官立學校在學 千五百人

にして、其他の、一萬八千四百十八人は、一定の學籍なきもの、三千人は、一定の職業なく、學生とも視なし難きも、自ら學生と稱するものとす。即ち、浮浪學生は、實に、二萬有餘人の多數ありて存するなり。

(東京市教育時報)

●煙草の害 柳浪氏の煙草談として新文第一號に左の如く記せり。

僕は、先月中旬から腦の具合が悪くて、ちつとも筆取る氣にならなかつた。偶々筆を持つても、如何いものか、物を纏めるだけの思想と、勘忍とが出て來ない。處で、初の程は、睡眠の不足だらうと考へて、睡眠時間を充分に増して見た、處が、何の効能も無い。

◎それから、いろ／＼考へて見た、が其中、不圖、煙草のことに氣が付いた、僕の平常用ひて居るのは、原料舶來の巻煙草である、若しや是が、腦を悪くする毒因であるまいかと、直ちに廢めて見た「尤も絶對的に煙草を廢めると云ふことは、僕に於て實行し難いことであつたから、唯、是まで使用して來た巻煙草を、刻煙草に代へたまでのことである。

◎然るに即効がある、最初の一日は、何の變化も、効能も見へなかつたが、二日目、三日目になると、すっかり様子が變つて來た。即ち今まで、くしやく／＼してゐた頭が、澄み直つたやうに清々として來た。それから、思想も涌いて來る、根氣も出て來る、原稿も滞りなく書けると云ふ始末さ。

◎其處で、僕は、舶來巻煙草の大害あることを悟つた、否發見した、而かも實驗上から。

◎元來煙草を廢めると云ふことは、洵に難いことに相違ない、現に坪内雄藏君が、廢めた當時、二ヶ月程と云ふものは、非常に苦しかつたとのことを聞いて居る、僕だとても矢張然りだ、煙草が無いやうになると、起きて居られない其心淋しいことは、實に話にもならぬ位である。

●東京市に於ける罪惡誘引物の數 警視廳に於ては本市誘惡類を分ちて左の種類となせるが其統計を見る者 誰か寒心せざらんや。

一、劇場

明治三十三年十二月末の調査に依れば、左の如し

大劇場と稱する者 約七ヶ所

小劇場と稱する者 約十二ヶ所

興業日數 三六七一日

木戸觀客 三四、八六六七

一、制限觀客 六八、七〇四〇

二、寄席並觀物場

寄席、觀物場の風教に關するや大なり、左に掲ぐる所のものに明治三十三年十二月末に於ける調査に依る。

(イ)寄席營業者

興業日數 晝 一、二六七八回  
夜 四、五七七八回

入場人員 晝 八五、二四〇一人  
夜 四二六、七三二四人

(ロ) 觀物場 常設 二〇ヶ所  
假設 一四七ヶ所

興業日數 常設 五二〇二日  
假設 一七八一日

入場人員 常設 一八九、一五五〇人  
假設 四一、二二一六人

(ハ) 路上觀物興行人 四四人

此等の場裏に演出する所のもの、講談、落語、端唄、娘義太夫の別なく、其多くは野鄙淫逸を以て觀聽者の娛樂を得せしめんとせざるなし、其陋卑を談じ、淫逸を演ずること、實に其親たる者をして、其子女を誘引して赧顔の感ありしむる者、世間幾干人ぞや。

三、遊戯場

表に遊伎を示し顧客をして終に伎外に遊佚せしむる所多し、左に記するものは明治三十三年十二月末の調査に依る。

大弓 八七  
楊弓 八三  
球戲 七五  
室内射的 二二

空氣發銃

吹矢

魚釣

而して右遊伎營業者の雇傭せる雇女は、約四百人。各遊伎場たる、其稱する所一個の逸樂を興ふべしと雖も、其營業者の婢女を雇ひ、遊伎者の同場を訪ふ者、果して單純なる逸樂を以て行くもののみなるか。

四、貸座敷  
貸座敷の風教上に著しき惡因を來たすはいふを要せず、明治三十三年十二月末の調査に依れば左の如し。

貸座敷 五〇〇  
引手茶屋 一七〇  
娼妓 五六一二人  
遊客數 三二五、八二一九人  
消費金額 四五四、五二一三圓  
一人平均 一圓三十九錢五厘弱

公然誘惑を表示せる貸座敷に於ては、衛生、風教の上に於て、事業の破滅、民力消耗の上に於て幾多激惡を流敷し、甚しきに至ては情死の痼態を演ずるもの多し。此等に要する其濫費の結果多くは精神の錯亂と爲り、沒徳背律の行爲を見るに至る。

五、密賣淫

無教育者の婦女、或は有教育の婦女も、其家庭の紛亂さ、生活の困難とより、法網の裏面に於て醜業を營むもの多し、今當局

の知り得たる明治三十三年十二月末日の市内に於ける調査は左の如し。

密賣娼 二八四人  
 娼介 六六人  
 客止 三二人

第六、諸營業の雇女

左に掲ぐる表は明治三十三年十二月末の調査に於ける。彼等の贅澤をなす所の財源は、それ何れより涌出するや。

大弓	雇女數	一〇〇
楊弓	場數	一一一
球戲		五四
室内射的		一六
空氣發銃		四四
吹矢		一八
貸座敷		二七一三
旅舍		四三一〇
引手茶屋		五〇六
娼妓附添(禿の類)		八三
待合		一二六五
遊船宿		一七
貸席		六九
料理		六〇一
		二二四二

酌酒屋	八五三
喫茶店	一七六
氷水店	四〇〇〇
飲食店	六四五四
藝妓屋	一四三三
合計	一〇二四四

(東京市教育時報)

●長野縣松本市學事狀況 ●同市は長野縣下の中央に當り教育上頗有望の地位に在り。現今は尋常小學校男子部女子部二ヶ所に附屬として裁縫專修科二ヶ所及幼稚園等合計生徒三千百有餘、教員數百八十餘人中學校一尙本年四月より高等女學校設立の運に至り尙將來小學校四、幼稚園二及師範學校をも設置する計畫にて前途中々有望の有様にたち至りたり云々(同市松本小學校荒田良作君報)

●島根縣松江市女子教育の概観 ●神門とも記  
 去月三十日雁と共に都の花の咲くを待たで、北方の郷里松江に歸省したりしに、中國の中央山脈を越えて、山陰地方に入れば、實に不思議、梅、櫻、椿及海棠は皆一時に咲き匂ひありき、謙遜なる葦の道側にところ狭きまで、しほらしく、笑ひこぼれしも

なつかしかりき、歡聲の汽笛と共に矢道湖の橋なる中海を横ざりて、大橋川上の樓橋に上り先づ涙もて接したるは、奮師、親戚、及朋友等の迎なりき、翌日より短時日の間に、兼て案し置きし用事をなし終へ、其餘暇を以て訪問せしは、松江市高等女學校、師範學校附屬小學校幼稚園、女子講習所、女學會及郡部の一尋常小學校なりき、尋常小學校の外は、滞在中大概春休中にして授業は見ることも能はざりき、尋常小學は昔昔が未だ小學にありし時、懇篤なる教を受けし恩師の居給ふ所なるを以て參觀の爲にはあらざりき、されば詳かに松江の教育の有様につきて記するは難しとする處なれども、不圖、目に附きたる處、感じたる處を擧ぐれば、概して校舎、清潔にして掃除よく届き、物品の排置もよく整頓し、運動場には相當の裝置ありて、しかも、廣き庭に遺棄されたるものなど少しも見えざりき、郡部の小學は其内にも殊に清潔なりき、又師弟の關係には女子講習所、女學會、附屬幼稚園及郡部の小學校にては一種云ふべからざる温情のこもれるあるを感じぬ。

該地方の女子教育は此一女學校と女子講習所及女學會に於て施さるゝものにして、此等の進不進は以て當地方女子教育の狀勢を卜するに足る幸ひにも吾が見聞したる所は有望なるものゝ如くなりき、殊に明年を期して再び女子師範學校の設置を見るに至るべきおや、

高等女學校につきて、職員は校長、橋氏を除くの外、女子高等師範學校出身者二名、尋常師範學校女子部出身者三名及當高等女學校出身者數名の三種よりなる、

寄宿舎は當校構内に設けられ疊敷にして、多くの室に分たれ、舎監室は稍奥よりたる處にて二た間を以て之に當て一は客間の如く作られたり、されば生徒をして來客の應接をもなさしめ得べく、炊事場は廣くして調理の實地練習せしむるに足る、只食堂の少しく陰氣なりしは、物足らぬ心地せられたり。

女子講習所は師範學校附屬のものにして

イ、尋常小學本科正教員の養成

ロ、小學校專科正教員の養成

ハ、小學本科准教員の養成

の三種の目的を以てし、生徒數四十五名にして卒業後就職すべき義務あるものなり。



女學會は特志家の集りて、必要に應じて設けられたるものにして、其制は私立なれども、女子講習所を監督せらるゝ錦織竹香氏之を監督せらるゝを以て地方人士の女子をして當市に遊學せしめらるゝには實に便利にして又安全なる寄宿合なり。

役員は

會長 本縣知事金尾令夫人和子

監督 錦織竹香

常置教員、山崎荻江

講師、錦織竹香、外、市内在勤の女教員十七名

書記、伴すい、福原さう、林しう

にして皆公務の餘暇を以て盡さるゝとなり、同會規則及生徒心得等は次號に紹介すべし。

●本會常會 本月一日女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會せり、詳細は次號に於て報道すべし、

## 新刊紹介

九十二

●醉人の妻 全一冊 久保天隨筆

細評は後日に譲るとして、こゝに輕薄なる我が文學社會に一異彩を放てる高等小説醉人の妻を紹介するを得るに至れるを喜ぶ。原書に誰も知る教育界の偉人ヘスタロツナー氏の「リーンハルトとゲルトロード」、其教育的價値は何人も知る所、今更贅するの要なし、譯者の筆亦流暢典雅にして、通讀殆んど時の過ぐるを覺えず熱讀玩味すれば、まことに教育者には百千卷の教育書を讀むよりも得る所多きを疑はず。吾人は現今混沌として汚濁せる小説界に此の如き優尙高雅の書の出でたるを歡迎し、獨り教育者といはず獨り社會改良家といはず、不規律亂雜極まりなき方今我邦の一般家庭の諱料として推薦せんと欲するを以て、たとひ譯者の言あるにせよ今少し柔かに今少し通俗的に譯述せられたらんにはなど思へど是れば大望對の感とでも云ふべきにや。(定價六十五錢發行所育成會)

●ジャンダーク 全一冊 勁林園主人編

西洋傑傳の第一篇として、かれて女子の友紙上に續載せしものを纏めて優美なる一小冊子となせるもの、たゞに稀世の烈婦の面影を見るを得るのみならず、又以て當時の世界史の一斑を知るに足る。夏は今や來らんとす 綠蔭の下清流の邊 希くば文藝俱樂部 部一流の小説を抛ちて、此種の冊子を續かれんことを敢て勸むる